

**カナダ・フレーザーバレー大学**  
**2017年度 留学報告書**  
**派遣期間 (2017年8月～2018年4月)**

(学年は派遣時)

コース名： English Language Studies Program

文学部英文学科 2年

8ヶ月間の留学生活は長いようであっというまに終わってしまいました。今回の留学を通して得たことは沢山あります。楽しいことだけではなく、授業や生活で大変なことや悩んだことも多くありましたが、その分沢山のことを学びことができ、充実した生活を送ることができました。

私は人前で話すことが苦手でしたが、授業内でのプレゼンテーションや普段の授業を通して、人前で話す時に、抵抗感がなくなったり、授業内でわからないことがあったらその場で質問ができるようになったりと、本当に小さなことですが成長できたと思います。

カナダは移民(主にフィリピン、インド、中国)が多く、また私が留学していたUFVには多くの留学生がいました。様々な国の出身の人達と関わることは英語力の向上だけでなく、コミュニケーション能力を高めたり、他国の文化を知ることができ、自分自信の考え方も変わったと思います。そして日本の話を友人と話すことで、日本の良さを改めて知ることができました。

自分の目標としている英語力にはまだ届いていないので納得できるレベルではないですが、留学を通して、改めて自分自身の将来について考えることができ、そのためにはどうしたら良いのかという小さな目標と大きな目標を立てることができました。これからはそれらの目標に少しでも近づくために、就活活動、今後の人生のために、英語の勉強に力を入れて行きたいと思います。

留学のためにサポートしてくれた国際交流課の先生方、事務の方々、本当にありがとうございました。

これから留学に行く実践生へ

私の場合、現地の人たちから、想像していた以上に日本の文化、歴史、日本語などについて質問されることがあり、自分の英語力不足と日本に関する知識不足のため説明できないということが何度もありました(特に留学の前半)。日本に興味をもっている人は想像以上にいます。私のように後悔しないためにも、日本に関する知識を英語で詳しく説明できるようにしておいたほうが良いと思います。

コース名： English Language Studies Program

文学部英文学科 2年

この留学を経験して、本当にたくさんのことを学びました。英語で話す機会が全く無かった私に、八ヶ月も英語漬けの生活を送れたこと、寮で色々な国の友達が作れたこと、たくさん時間を一緒に過ごしたクラスメイト、カナダの文化に触れさせてくれたホストファミリー、一緒にバイブルを学び、ディナーを楽しんだチャーチメンバー、カナダで出会えた人たちに感謝し、得たことを忘れずに生活していきたいです！

コース名： English Language Studies Program

文学部英文学科 2 年

以前よりも順応力が上がったと思う。初めての海外だったので、日本とはまったく違うと思ってカナダに行ったことが良かったのだと思う。また、友達もたくさん出来たが、その中でも仲良くなれた 2 人の友達が出来たことも良かった。留学当初は英語がまったく聞き取れなかったり、話せなかったりして涙が出ることもあったが、周りの環境に慣れながら勉強していくにつれて心も落ち着いていくので、焦らずに過ごして行ってほしい、ということを経験した留学生に伝えたい。

コース名： English Language Studies Program

文学部英文学科 2 年

学習面ではもちろん成長することができたが、何よりも人として成長することができた八か月だった。初めて親元を離れ、自分ひとりじゃ何もできないと痛感した。一人で色々できるようになり少しは自立できたと思う。

今まで日本人としか関わったことがなかったため、外国の友達ができるたびに世界が広がった。今までマイナスなイメージを抱いていた国の人たちがすごく親切で、イメージをプラスに変えることができた。

コース名： English Language Studies Program

文学部英文学科 2 年

ホームステイや、大学での活動に参加した経験が、英語の技能だけでなく、コミュニケーション能力の向上や、物事を見るとき視点の変化につながった。この経験から、大学内のイベントや活動には積極的に取り組んでいくべきだと感じた。また、インターナショナル学生と知り合うことができ、英語圏の文化のみならず様々な文化を学ぶことができた。アカデミックの授業では自分のレベルより上の授業に挑戦したことで、英語力が向上しただけでなく、受講後の自信にも繋がった。8 ヶ月という期間は非常に短く、日々目標を立てて過ごさないと、あっという間に終わってしまうので日々の挑戦を大切にしなければならなかったと感じた。授業はもちろんだが、日々の生活からも学ぶことが多く、充実した 8 ヶ月間を過ごすことができた。

コース名： English Language Studies Program

文学部英文学科 2 年

八ヶ月の留学で、私は英語力だけでなくコミュニケーション能力や行動力などたくさんを学ぶことができました。私は授業外でも英語を使うことが大切だと思ったので、放課後に UFV 公式の Japanese culture club や Abbotsford communication service の English conversion class、日曜日に教会に行くなどをしていました。私はこれらに参加していたことが英語力向上につながったのではないかと思います。そこでたくさんの友達を作ることができたため、参加してよかったと強く感じています。カナダに来る前、海外で生活をした事がなかったのですが、色々な国の方々と友達になることができ、カナダ以外の文化や考えも知る事ができました。特に私はクラスメイトの中国人と仲良くなる事ができ、放課後は一緒に買い物に行ったり、週末はバンクーバーでご飯を食べに行ったりととても楽しい時間を過ごすことが出来ました。また、ルームメイトが中国人で彼女は日本語を学んでおり、私は中国語の授業を実践女子大学と UFV で履修していたのでお互いに教え合うことができました。寮に帰ってからもこのような充実した時間を過ごすことができ、刺激的な毎日を送ることができ私は本当に恵まれた環境にいるなと感じました。カナダでの生活は言葉では表せないほどたくさんを学び、一生忘れることのない経験をする事ができました。まだまだネイティブのように話すことはできませんが、この経験を活かして英語の勉強に励みたいと思います。また支えてくれた家族や友人、先生方への感謝の気持ちを忘れずにこれからも充実した学生生活を送りたいです。今後の UFV への留学生には、授業外でのコミュニティに多く参加することがより良い英語力向上につながるので、私はこれをおすすめします。

コース名： English Language Studies Program

文学部英文学科 2 年

留学前までは英語を話すことに躊躇してしまうことが多かったが、この留学を通して、自分から英語を話す勇気がついた。友達と会話している時に、自分の英語が間違っていたり発音がおかしい時は指摘してくれるので、友達との日常会話も勉強になった。クラスメイトと話すのは、自分たちの英語力が同じぐらいなので恥ずかしがらずに話すことができた。友達と話すことで、日本の英語の教科書では習わないようなフランクな言い回しやフレーズも学ぶことができた。私は寮生活だったが、寮に住んでいる人はみんな親切で、一緒に料理を作ったりして気さくに話しかけられるようになった。カナダは多国籍な国なので、カナダ人以外にも中国人やインド人を中心とした様々な国籍の人と関わることができた。他国の価値観や宗教、食事面でも日本で生活していたら気づかないことに直接触れることができ、今まで自分の先入観で判断していることが多くあったことに気が付いた。また、クラスメイトは中国人とインド人が多かったので彼らが直接母国語を教えてくれる機会もあり、英語だけでなく新たな語学に触れる機会もあった。日本に興味がある学生もいて、日本のことを考える良い機会にもなった。様々な国の文化を見ると改めて、日本を誇りに思うことが多々あった。

これから留学に行く実践生へ

今回の留学で友達の存在がとても大きかったので、先入観にとらわれずなるべく多くの人とコミュニケーションをとり、英語の勉強も大切だと思いますが、勉強面以外の目標も持って留学するとより充実した留学生活を送れると思います。

コース名： English Language Studies Program

文学部英文学科 3 年

私は 8 ヶ月間の留学を通して、相手の考えを認め、話し合うことの大切さを学びました。カナダの授業スタイルはペアワークやグループワークが多く、自分の意見を自分の言葉で発信していくことが重要です。それに加え、相手も同じように考えをもっていて、それを伝えてきます。お互いの英語力が未熟で、正しく意思疎通できないときや、相手の意見が自分やグループの方針と違ったときにディスカッションを放棄せず、相手を理解しようと努力することが大切であると学びました。相手のことが理解できないからといってわかったふりをしたり、自分と違うから、話し合いがまとまらないから、といって伝えること、理解することをやめてしまうと、そこで成長は止まります。私は授業内でのペアプレゼンテーションの際に、パートナーのインド人の学生とこのような壁にぶつかりました。各々で準備を進めた方がいいのだろうか、と考えたこともありましたが、諦めずにミーティングを重ねた結果、お互いの意見を理解し合い、納得のいく発表が出来たと思っています。「価値観が違うからこそ、理解するのに苦労する。しかしその分おもしろい」私はこのように思います。「20 年以上異なった環境や文化のなかで過ごした人たちが出会った。さあどうする？」たった 8 ヶ月では 21 年かけて作り上げられた私の価値観は変わりませんが、違った価値観を持つ人に出会ったとき、まず相手のことを認め、理解しようとする大切さを学びました。「グローバル化」が叫ばれる今日、外国語を話せること、視野が広いこと以上に、私たちが社会に出る上で最も大切な「違った意見を持つ人を認める」ことを学んだ留学になりました。

コース名： English Language Studies Program

人間社会学部 現代社会学科 2年

英語力では、ホストファミリーや友達と積極的に少しずつ会話をした結果スピーキングやリスニング能力が向上したと思う。また、カナダで生活をしたことにより国際的視野が広がった。カナダは移民の国でもあるので様々な人種の人が生活している。文化や習慣、言語が違う多くの人々が一つのコミュニティに所属し、仲を深め合っている様子は、日本では経験できることではない為とても良い経験になった。

今後の交換留学生には、積極的に行動し、コミュニティを広げることを意識して生活することをお勧めしたい。人が人を繋げ、カナダでより充実した生活を送ることができると思う。

コース名： English Language Studies Program

人間社会学部 現代社会学科 2年

英語力は少なくとも向上したと思う。英語力以外にもとても多くの事を学ぶことができた。様々な人との出会いやカナダでの生活によって人として成長でき、将来を考えるうえで視野が広がり選択肢が広がったと感じる。自分自身を見つめなおすことができる時間が持てとても充実した留学生活を送ることができた。